

「あすなろ」便り

No.108

2017. 2

発行：あすなろ
TEL:046-254-2005

* お餅つき会 *

1月12日にあすなろ恒例の餅つき会を催しました。座間市の適応指導教室つばさの皆さんやあすなろの子ども達等40人位で賑やかに行われました。もち米は10キロ用意して5臼つきました。みんなで大騒ぎしながら、杵で最初はしっかりこねてそれからペタンペタンとついていくのですが、初めての子はちょっと、こわごわでへっぴり腰ですがつくうちにだんだん上手になって、「僕がやる」「私もやる」ととっても楽しそうでした。ついたお餅は台所班が手際よくちぎり、あんこ・きなこ・納豆・ショウガ等をまぶして配膳しました。また、海苔を巻いた磯部風餅も人気でした。それに野菜がたっぷり入ったお汁が加わり、みんな嬉しそうに食べていました。作って食べること、これは生きるための原点であり、活力の源であることを痛感する経験でした。あすなろスタッフは事前準備や当日の作業も大変でしたが、子ども達の歓声や笑顔を見ると苦労も吹っ飛びました。また、今年は「ノロウイルス」が流行しているという情報があり、参加の皆さんは手洗い消毒を入念にし、医療用の手袋を使用して餅つきや調理をしました。その後幸いに「ノロ」になったという情報もなく、スタッフ一同ほっとしました。

* 海老名「びなルーム」屋台村へ

1月19日に屋外活動で、お隣の海老名市へあすなろの子ども達5人とスタッフ3人で行って来ました。海老名市の適応指導教室「びなルーム」のイベントとして、屋台村を実施するという事で行って来ました。天気にも恵まれ電車とバスに乗り継いで、「食の創造館」での屋台村でインドカレーセットを食べたり、100円メニューのマフィン・クッキー・スイートポテトを買ったりして、楽しみました。「びなルーム」の生徒さんたちと交友を深め再会を約束したりして、楽しいひと時を過ごしました。

* こどもの国のスケート場でスケーターになったよ！

2月7日は寒い日でしたが、あすなろの子ども達7人とスタッフとボランティアで総勢14人でこどもの国のスケート場へ行って来ました。初めての経験の子ども達も居たりして、スケート靴をはくのも一苦労で立ち上がった時もよろよろしていました。が一方でいざ氷の上にたったらスイスイと滑り出した子ども達や、回りの手すりにつかまって真剣に滑って(?)いる子どももいました。昼食休憩後はスケートをやりたい班と外の滑り台や牧場へ行く班に分かれて楽しんだ後、牧場で合流しました。そこで、名物のソフトクリームを食べました。その牧場の牛の乳で作られたとの事で、クリーム味たっぷりの美味しいソフトでした。スタッフの一人はこれが食べたくて参加した人もいました。子ども達はあすなろの家にいる時とは違う生き生きとした表情で楽しんでいました。

